

建材 マンズリー

No.595 **5** MAY 2015

特集

「非住宅木造」とプレカットの
“今”を探る

好木心

世界一大きな醸造用の木樽

注目企業を訪ねる

イーグルバス株式会社



「非住宅木造」とプレカットの“今”を探る

「低層の公共建築物*1については原則としてすべて木造化を図る」という「公共建築物等木材利用促進法」が成立してから、この5月で5年が経過した。過去の「都市建築物の不燃化」という非木造化の考え方を180度転換した画期的な法律である。85%の市町村が国の方針に即して、木材利用方針の策定を行っており、公共建築物や非住宅建築物の木造化の期待が高まっている。住宅市場が縮小傾向の中、増加が目される非住宅市場での木造化の課題と可能性、そして、非住宅市場に対するプレカット事業者の取り組みを考察する。

(※本特集では木造の非居住用建築物を「非住宅木造」と表記する)

図1. 非住宅における床面積の木造・非木造割合の推移

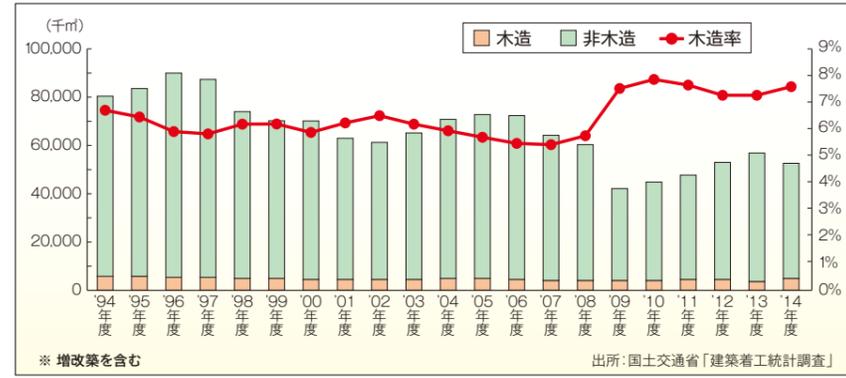


図2. 住宅・非住宅における階数別の木造率（2014年度）

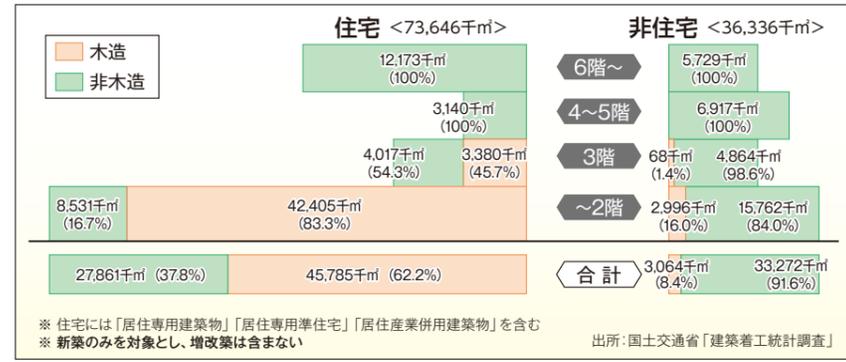


図3. 非住宅木造普及の課題と対策（まとめ）

| 課題 | 原因 | 対策 |
|------------------|-----------------------|--|
| 施主が木造に対して消極的 | 耐久性や耐火性、メンテナンスコストが心配 | ・「ウッドファースト」の意識を持つ ・施主の不安を払拭するための適切な説明 |
| 施主に対して木造の提案ができない | 木造の意匠設計・構造計算ができる人材が不足 | ・「ウッドファースト」の意識を持つ ・木造の構造設計ができる人材育成 |
| 木造のメリットが知られていない | 木造の良さを生かせる条件分析が不足 | ・木造の良さを生かせる3～4階の商業施設や集合住宅で、競争力をつける |
| コスト高 | 中・大規模木造用資材が一品生産である | ・中断面部材や接合金具を規格化し、量産する |

非住宅木造の普及には 中断面部材の規格化が必須

● 巻頭インタビュー

施主も事業者も
木造の経験がない



全国1472の市町村が、「公共建築物等木材利用促進法」に賛同して木材利用の方針を打ち出す（*1）など、非住宅建築物の木造化に対する認識は少しずつ高まっています。しかし実際の普及状況はまだゆるやかなものといつてよいでしょう。

例えば、国が整備する低層の公共建築物では、2013年度に対象となった118件のうち、木造で整備されたのは24件だけです。また、建築着工統計を見ても、非住宅の木造率はここ20年間床面積で7%前後という低い水準のままです（図1・2）。なぜ非住宅の木造化がなかなか進まないのか。それにはいくつかの要因があります。

まず、自治体や民間事業者などの施主側と建物を提案する事業者側がこれまで「中大規模木造建築物を

作った経験がない」ことが挙げられます。

施主側は、木造にした場合の耐久性や耐火性、メンテナンスのコストなどが心配で、それなら長年なじんでいる鉄筋コンクリート構造（RC造）にしておこう、ということになるわけです。

また設計事務所や建設業者などの事業者側に「木造の提案ができる、あるいは構造計算ができる技術者が、首都圏以外で少ない」ことも、木造化を阻む一因となっています。それを解決するには、人材の育成を、特に首都圏以外で行うことが急務です。人材が育たない限り、非住宅の提案は最初からRC造になってしまうからです。



東京都市大学
工学部
建築学科教授
大橋 好光氏

「ウッドファースト」の意識を広める

「低層の公共建築物は原則木造にする」という法律ができ、木造の非住宅市場が出来上がりつつあるといえます。しかし市場はあるのに、意識がまだ追いついていないのが現状です。「ウッドファースト」という言葉があります。非住宅の建物も住宅と同様に、まず木造で検討する、という考え方で、カナダでは法律を定めている州もあります。今まで「RCファースト」だった日本も、まず「ウッドファースト」の意識を持つことが必要です。

私が、特に木造化をお勧めしたいのは、緑に囲まれた地方都市の3～4階建て商業ビルや集合住宅です。1～2階を商業施設にして、3～4階を居住空間とする提案は、地方都市ではかなり需要があると思います。準防火地域では燃えしろ設計が可能で、4階建てでも1時間耐火です。本当の競争力をつけるためには、民間の商業施設の木造化が進む必要があります。4階建てまでは当たり前のように木造で造る仕組みが早く出来上がることが期待しています。

次に「木造のメリットが知られていない」ことも要因です。どんな建物から木造の良さをより生かせるかを分析する必要があります。木造は癒やし効果をはじめ、施工が早い、建物が軽いなどのメリットがあります。

例えば、地盤が悪い敷地条件では、RC造より軽い木造の方が基礎も小さくて済みます。また、現在、木造化されているのは学校や保育園などの教育関連施設が多いですが、都市部の3～4階建ての商業ビルや集合住宅などでも、木造のメリットを生かせるのではないかと思います。そして普及の足かせになる最大の

部材を規格化すれば コストダウンが可能

要因が「コスト高」です。安定的に供給され、流通している住宅用資材と異なり、中・大規模木造の資材は個別設計の一品生産が多いため値段も高くなりがちです。RC造とのコスト競争では不利になります。コストダウンを図るためには、住宅用よりも大きい中断面部材の規格化が重要です。住宅資材と同じように規格化して供給すれば、コストダウンは可能です。また、それに応じて接合金具の規格化も進むと思います。

*1: 公共建築物には、国や市町村以外が整備する学校、老人ホーム、保育所、福祉ホーム、病院、診療所、体育館、高速道路の休憩所なども含まれる
*2: 2015年3月31日現在

プレカットから建て方までを トータルに請け負おう——株式会社大三商行 千葉支店

木材ビジネスの老舗である株式会社大三商行(本社・岡山市)は、1950年の創業以来、時代の変化に対応した木材加工や木造住宅事業に邁進してきた。近年では一般木造住宅はもとより、特定建設業者として数多くの木造施設も手掛けている。非住宅市場への取り組みを、同社のプレカット事業を統括する石川和重氏と建築部門の責任者である甲高恒夫氏に伺った。



国産杉でトラスを工場加工し、建て方工事で行う

非住宅市場の開拓は不可欠

プレカット事業とともに建築部門も有する同社では、12年前に金物工法に対応できる設備を検討する中、大規模木造への対応を見据えて大断面加工設備を導入したことがきっかけで、非住宅物件を受注するようになった。2014年度にプレカットを手掛けた非住宅物件は全売り上げの約15%を占めるまでに成長している。受注は主に地場ゼネコンからだという。「今後の住宅市場の縮小を視野に入れば、これまで鉄やコンクリートで作られていた建築物を木で建てていくという市場を開拓することは不可欠ではないでしょうか。当社も最初はなかなか要領が分からずに苦労しましたが、少しずつ改善しながら実績を積

み重ねてきました」と石川氏は話す。同社がプレカットとともに建て方までを請け負う非住宅物件数は年間5〜6件。直近では、2015年4月に道の駅(千葉県香取郡)がオープンした。ゼネコンが元請けとなり、木材の調達から加工を含めた施工全般を同社が請け負った。

「この道の駅が建てられたのは、酒づくりが盛んで『発酵文化』が受け継がれてきた地域で、昔ながらの文化を表現するという意味でも、施主は『木造の大空間にこだわっていました。また、今回の元請け業者は大規模木造施設を手掛けるにあたって木造のノウハウも必要としたため、木材の扱いや加工、そして建て方にも慣れている当社にお話をいただきました」と甲高氏。非住宅木造に着手しようとするゼ

プレカット事業者同士の連携で住宅と非住宅の両立を図る

プレカット事業者が比較的取り組みやすい非住宅物件は、流通材を利用できる低層の規模物件だろう。同社がこれまでに手掛けてきた非住宅物件の約半数が保育園や幼稚園などの教育関連施設だという。「長い付き合いのある設計事務所が教育関連施設への取り組みを強化し、当社に発注いただけるようになりました。教育関連施設の場合、3月竣工のものがほとんどなので、これが



株式会社大三商行 住宅部 部長 甲高 恒夫氏



株式会社大三商行 取締役専務執行役員 千葉支店長 石川 和重氏

重なる前年11月頃がプレカットの納品のピーク。私たちのキャパシティでは対応しきれなくなることもあるのが悩みです」(石川氏) 施主の意見を取り入れることで納期の変動もあり得る住宅とは異なり、公共施設ではオープン日が決まっているので、納期を変更することはできない。そこで同社では、他のプレカット事業者と加工協力を行うことで、住宅と非住宅の両立を図っているという。「プレカット事業者が非住宅に取り組み場合、スケジューリングが非常に重要になります。当社では一昨年度産型ラインを新設し対応力を強化しましたが、それでも対応できない場合は他社との連携で乗り切っている

ます。また、当社の加工設備で対応できない場合も他社に加工協力をお願いしています。もちろん、他社から当社へ依頼が来ることもあります。プレカット事業者が非住宅市場に進出していくためには、事業者同士の連携強化がお互いのメリットにつながると思います」(石川氏) **プレカットを超えたトータルな対応力が必要** 「非住宅木造に取り組む場合、マネジメント能力が必要とされます。木材の知識を駆使して、意匠設計や構造設計など物件に関わる事業者の意見をまとめ上げることができれば、



プレカット工場内の作業風景。金物接合のための端部を加工した後、出荷前にトラスに組み上げること現場の負担を軽減する



木造の良さを最大限に生かした室内



ウッドデッキのテラス

「こざくら保育園」
建設地：千葉県白井市 着工日：2012年9月11日
建物構造：木造平屋 竣工日：2013年2月25日
延べ床面積：761.57㎡ (230.37坪)

大三商行の非住宅木造への取り組みポイント

- 大断面加工設備の導入と他社との加工協力で、加工体制を強化
- 材や設計に関するコンサルティングや建て方の対応で差別化
- 地域の住宅関連事業者とのネットワークから情報収集



木造の大空間を実現

「道の駅 発酵の里 こうざき」
建設地：千葉県香取郡神崎町 着工日：2014年9月20日
建物構造：木造平屋 竣工日：2015年4月10日
敷地面積：6758.28㎡

竣工に進んでいきます」(甲高氏) まだ実例の少ない非住宅木造では、コンサルタントのような立場で、材から施工まで幅広いアドバイスが求められるという。設備さえあれば、どのプレカット事業者でも非住宅市場への参入は可能であると石川氏。ただし大切なことは、プレカットを超えたトータルな対応力であるという。「当社では、納材だけの受注も受けています。ただそのような場合でも、金物の収まりの確認など現場で立ち会

うことが大半です。普段RCやS造に慣れていても、木造になると建て方の勝手は違います。最近では躯体を組んで間柱を入れるところまで弊社で終わらせてからお渡しすることも増えました。こうしたサービスがリピートを頂くことにつながっていると思います」 非住宅の場合、ゼネコンのみならず地域の材木問屋や他社のプレカット事業者からの受注も少なくない。今後とも非住宅の受注を増やしていきたいという同社では、地域の住宅関連事業者との連携をより強化していく構えだ。

地域の住宅関連事業者との連携で 非住宅市場開拓

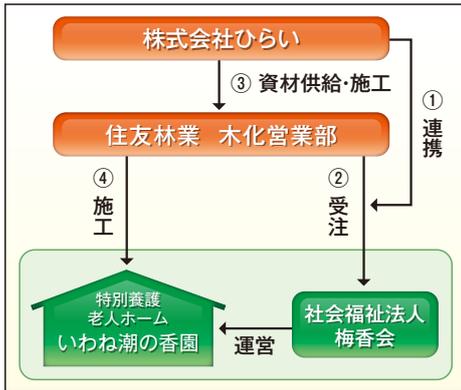
——住友林業の取り組み

住友林業木化営業部は、介護付き有料老人ホームや児童養護施設、飲食店舗や複合商業施設など、多くの非住宅木造の設計と施工に携わってきた。2015年8月には千葉県木更津市に新たな特別養護老人ホームが完工予定だ。建築物の木造化を追求する木化営業部に非住宅分野受注拡大のポイントを聞いた。

住宅関連事業者との 協体制度を構築

住友林業が施工を請負い、2014年11月着工となった特別養護老人ホーム「いわね潮の香園」は、千葉県木更津市の社会福祉法人梅香会が経営母体となっている。同県市原市に本社があるプレカット事業者の株式会社ひらいと連携で住友林業が一般競争入札に参加し、受注した。

受注から施工までのスキーム (「いわね潮の香園」の場合)



社会福祉法人の場合は地域密着型

であることが多く、地域でのネットワークを通じて物件情報が寄せられることが多い。また非住宅の場合受注から着工までの期間が短いため、受注後の素早い対応が要求される。そういった意味でも、地元の大工や施工会社などの協力業者とつながりが強い、地域に根ざした住宅関連事業者の協力を得ることは重要な要素だ。「例えば、プレカットの納材に関しては、建て方まで対応いただけると工事を円滑に進める上で大変助かります。住宅関連事業者の『地域のネットワーク』と当社の『提案力』で一緒になって受注をとっていきたい」と東原は語る。

非住宅木造の認知度を 高める取り組みを進める

物件情報提供者は、金融機関や設

計事務所、不動産会社など多岐にわたるが、最近では建築を考える施主から直接問い合わせが来るケースも増えてきたという。デザイン性の高さや利用者への癒やし効果、他施設との差別化、コストダウンなどを求め、建築物の木造化を考える施主は少なくない。その一方で、国内の非住宅施設はまだまだ約90%が非木造であ

り、木造化が可能であるということ自体、まだ認知度が低いといわざるを得ない。

「特殊なものばかりで継続性がなければコストダウンにつながらず、木造化が進まない」と東原。今後は、資材や施工力のスムーズな確保、コストダウンにつなげるために流通材や一般住宅の工法を活用しながら、中小規模の非住宅木造の普及を推進する。また、認知度向上のために、特殊技術が必要となる大規模木造施設の建築にも取り組んでいきたいという。



住友林業株式会社
木化営業部 営業チーム
マネージャー
ひがしほら だい
東原 大



建築中の「いわね潮の香園」の内部



自然素材である木の魅力や効果を生かした共同生活室

特別養護老人ホーム「いわね潮の香園」

千葉県木更津市万石字水越 146 番 1 他
建物構造：準耐火／木軸平屋
建物規模：延べ床面積 2253.11㎡ (681.56 坪)
設計：株式会社 IFA 計画
着工日：2014年11月27日
完工予定日：2015年8月31日

好木心

vol.16

世界一大きな 醸造用の木樽



大分県
臼杵市



写真提供：フドーキン醤油株式会社

大 分県臼杵市、大分醤油協業組合の工場敷地内に、世界一の大きさを誇る醸造用木樽がある。高さ9メートル、直径9メートル、容量540キロリットルで、高さは3階建ビルに匹敵する。

外置き木樽には、保温性、断熱性にすぐれていることはもちろん、雨水の浸入や漏れを防ぐ堅牢さが要求される。また、外気温の影響を受けにくくするためには大型であることが必要だ。

木樽は乳酸菌や酵母など、醤油醸造に欠かせない有用微生物が働きやすく、自然発酵でもろみの温度が持続するため、醸造には最適だ。大型の木樽だと、長期にわたる外気温の激しい変化をゆっくり受けとめ、じっくりと熟成させるため品質が安定するのだ。

通常、醸造用木樽に使われるのは杉材だが、この木樽にはカナダ産ヒバが用いられており、表面保護のために塗装が施されている。ヒバが用いられたのは長尺の杉材がなかったのが理由だが、ヒバは杉よりも木の細胞が硬く、反発力が強いいため漏れにくいという利点もあった。カナダの原生林で育った樹齢400年以上のヒバを輸入し、製材して乾燥させるのに1年。樽材に成形するのに半年、組立工事に3カ月。10cm角の柱と柱の合わせ面には切り欠きを施し、接着剤などは使用せず、ステンレスのバンドと締め金具だけで組み立てた。

半年間の試運転を経て、2002年12月に完成した。導入以来、大きな漏れも風雨の侵入もなく、メンテナンスフリーを保っているという。天然醸造にこだわり、3年間という長期熟成を究めるために生まれた『世界1』である。

注目企業を訪ねる

付加価値創造に挑戦

イーグルバス 株式会社

徹底した“見える化”に基づいた 取り組みで地域の 赤字路線バスを再生



代表取締役社長
谷島 賢氏

本社 ● 埼玉県川越市中原町2-8-2
創業 ● 1980年
資本金 ● 5,000万円
従業員 ● 193名
事業内容 ● 一般乗合旅客自動車運送事業(路線バス・高速バス)、一般貸切旅客自動車運送事業(観光バス)、特定旅客自動車運送事業(送迎バス)

乗客と運行のデータ収集や
顧客アンケートを実施

「地方都市の路線バスは、地域住民にとって生命線とも言わなければならない。その一方で、人口の減少により近年では年間約1000kmのペースで廃線になっている。こうした中、2006年、大手バス会社撤退の後を引き継いだ埼玉県白高市の赤字路線で乗客を増やしているのが、イーグルバス株式会社だ。」

「私たちがまず着手したのが、運行状況の見える化です。バスの車内に、赤外線乗降センサーとGPSを設置し、停留所ごとの乗客数や停留所間の乗客密度などあらゆるデータの収集を行いました。これ

単なる効率化ではなく
顧客ニーズに基づいた最適化が重要

「顧客のニーズばかりを満たしても、ビジネスとして成り立たなければ意味がない。そこで、コストの見える化のため管理単位を「1台」「1ダイヤ(運行)」「1分」「1キロ」の走行当りに変更。路線内などの区間が赤字なのかを詳細に浮き彫りにしていった。」

「最初はデータを取得できれば改善できると考えていたのですが、うまくいかず、改善するためには「測る(データ収集・見る(データから問題点を抽出)・考える(改善プロセス)」が揃って初めて実現するという結論に3年の歳月を経てたどり着きました。そして、通勤時間帯とその他の時間で鉄道との接続時間を変更したり、時間帯によって行き先を変更するなどの改善を実施しました。また、コストをかげずに利便性を実現するために、航空業界の「ハブ&スポーク」を取り入れました。ハブ停留所を設けてバスを集約し、乗り換え機能を持たせることで、効率の悪い長距離路線を折り返しの短距離路線に変更しました。その結果、車両台数を増やさずに運行本数の増加に成功しました。私たちが目指すのは、あくまでも顧客ニーズに基づいた最適化です。単なる効率化だけを考えていては、顧客サービスの低下につながります」

ここが注目ポイント

運行状況、顧客ニーズ、コストの
“見える化”で改善策を打ち出す

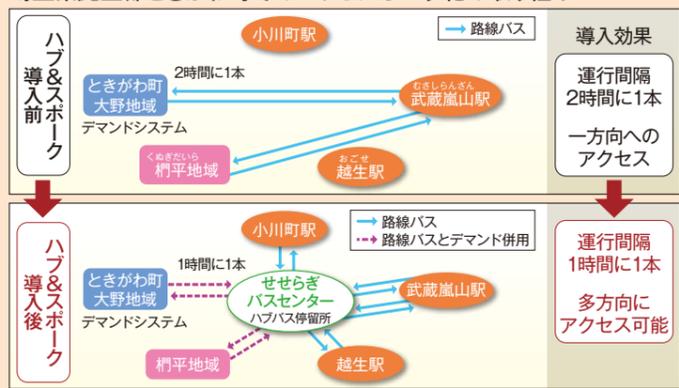
公共交通機関として顧客にとって
最適な利便性の高いバス運行

生活機能を有するハブ停留所の
設置で地域活性化に貢献

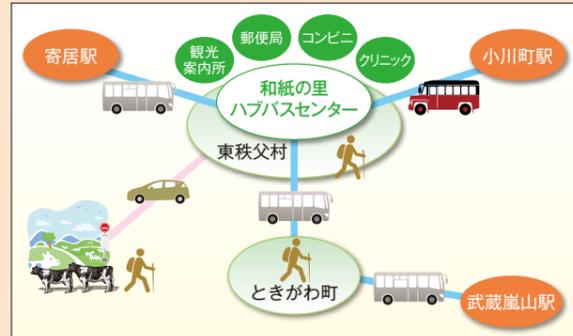


ときがわ町のハブバス停留所「せせらぎバスセンター」(右)、川越のシンボリックな存在のボンネットバスで小江戸川越の観光地を結んで走る(上)

埼玉県比企郡ときがわ町でのハブ&スポーク化の取り組み



和紙の里ハブ化構想



東秩父村の体験施設「和紙の里」をハブ停留所とし、周囲に施設機能も設置することで住民、観光客が集まり、村の新たなにぎわいの場となる

「バス事業は公共性が高いとはいえ、お客様へのサービス事業です。つまりお客様の声を生かすことも不可欠なのです。例えば、乗降客が少ない理由は、使い勝手の悪さかもしれません。そこで、バスの中にポストカード式の車内アンケート用紙を設置して日々の意見を収集しました。また、路線の地域住民に3年に1度アンケートを実施し、バス利用を含む生活行動の変化や意識を調査するなどして、顧客ニーズの見える化を進めました」

「地方都市のバス事業者のうち、実に87%が赤字に陥っている状況だという。そのような中、事業改善に乗り出した同社が次に見える化したものは、顧客ニーズだ。」

「バス事業は公共性が高いとはいえ、お客様へのサービス事業です。つまりお客様の声を生かすことも不可欠なのです。例えば、乗降客が少ない理由は、使い勝手の悪さかもしれません。そこで、バスの中にポストカード式の車内アンケート用紙を設置して日々の意見を収集しました。また、路線の地域住民に3年に1度アンケートを実施し、バス利用を含む生活行動の変化や意識を調査するなどして、顧客ニーズの見える化を進めました」

「私は、会社の存在意義は地域貢献のためにあるべきで、社会の課題にこそビジネスの種があると考えています。赤字路線でも徹底した最適化を行えば、住民の利便性も増し、新しいビジネスの種も生まれます。現在取り組んでいるのが、ハブ停留所を利用した地域活性化です。埼玉県の東秩父という過疎の村に、「コンビニ」や調剤薬局、飲食店や物産販売所などを設置したハブ停留所を作り、住民のコミュニケーションの場とする。さらに、周辺の牧場やハイキングコースにアクセスしやすいバスを運行することで、これまでマイカーを利用していた観光客やハイカーも取り込めると予測しています。また、生活機能を集約させた複数のハブ停留所を巡回することで、従来なかったサービスを地域に提供する仕組みも実現させる予定です」

「見える化で一番重要なのは、「考える」ことだと谷島氏。同社では今後、バスの力で日本全国に活気を取り戻すため、同業他社に対する「見える化のコンサルティング」を強化していく方針だという。」

「木造校舎の構造設計標準」(JIS A 3301)が改正 複雑な木造校舎の設計が比較的容易になる

文部科学省は日本工業規格である「木造校舎の構造設計標準」(JIS A 3301)を1956年の制定以来、初めて全面改正した。大規模木造建築物の設計経験のない技術者でも木造校舎の計画・設計が進められるよう、また近年の学校施設に求められる機能や性能等が確保できるようにするものだ。適用範囲は平屋建て及び2階建て、軒高9m以下かつ最高高さ13m以下、延べ面積2,000㎡未満/1棟、耐火または準耐火構造の適用を受けない木造建築物。

この改正により、これまで複雑だった木造校舎の設計が比較的容易となる。また、地域材や地元職人の技術活用による地域経済の活性化や、学校の校舎等を含む大規模木造建築物の設計技術者育成に寄与することなどが期待されている。

JIS A 3301改正の主な内容

| |
|---|
| ① ユニットの形状の種類を増加 |
| ② 各タイプの室の大きさの種類を増加 |
| ③ 荷重条件の設定の見直し |
| ④ 構造部材の使用材料に構造用集成材や構造用合板を追加 |
| ⑤ 耐力壁の仕様 (ユニット平面の壁配置において、必要な耐震耐風性能を満足し得る筋かい耐力壁及び構造用合板張り耐力壁を留意) |
| ⑥ 水平構面の仕様 (厚物の構造用合板を横架材に直張りする仕様) |
| ⑦ 軸組各部の接合仕様の全面的な見直し |

文部科学省(木造校舎の構造設計標準(JIS A 3301)及び技術資料)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/mokuzou/index.htm

女性顧客の声から開発した「konoka (コノカ)」発売 東京・三鷹にモデルハウスオープン ～住友林業

住友林業は、「女性目線開発プロジェクト」による新商品「konoka(コノカ)」の発売を開始し、モデルハウスを三鷹第二展示場(東京都三鷹市)にオープンした。

「konoka」は、女性顧客へのアンケート調査などから4つのキーワード「リビング」「ナチュラル」「愛着」「自分」を抽出。それらをもとに4つの商品コンセプトから、プロジェクトメンバーである女性社員が中心となって商品開発を行った。



※ 表紙もあわせてご覧ください

- ① リビングから発想するプランニング
 - ・ すっきり美しく収納する「スタイリッシュなストレージ」(パントリーなど)
 - ・ 快適に作業できる「洗練ワーク空間」(サンルーム、ワークテラスなど)
 - ・ 自分の時間も楽しめ、リビングもきれいに保てる「リビング+α」(畳コーナー「タタミーゼ」、テラスリビングなど)
- ② 木の風合いを生かした心地よいナチュラル空間を実現する3つのインテリアスタイル
(ナチュラルノルディック、フレンチシック、レトロモダン)
- ③ 使うほどに愛着のわく設備や部材
 - ・ 木の質感にこだわったくつろげるドレッサー
 - ・ 個性ある風合いのフローリング
- ④ 花とグリーンで毎日をより豊かにするガーデンスタイル

お問い合わせ先:
住友林業(株)営業推進部 TEL:0120-21-7555

編集室より

- 弊社ホームページに特集ページのみを掲載中です。
<http://sfc.jp/mokuzai/kenzaimonthly/>
- 広告掲載・誌面に対するご意見、ご感想は
 建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。
kenzai-monthly@sfc.co.jp

住友林業株式会社 木材建材事業本部 事業開発部

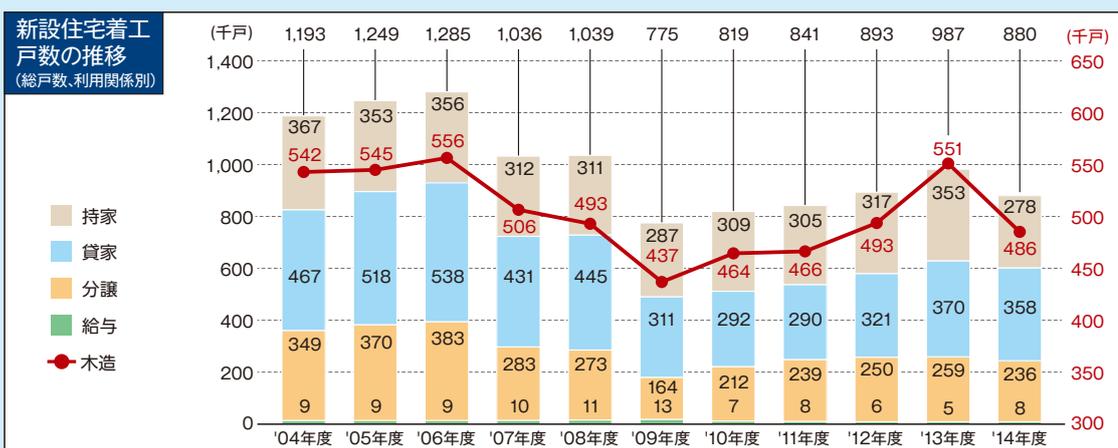
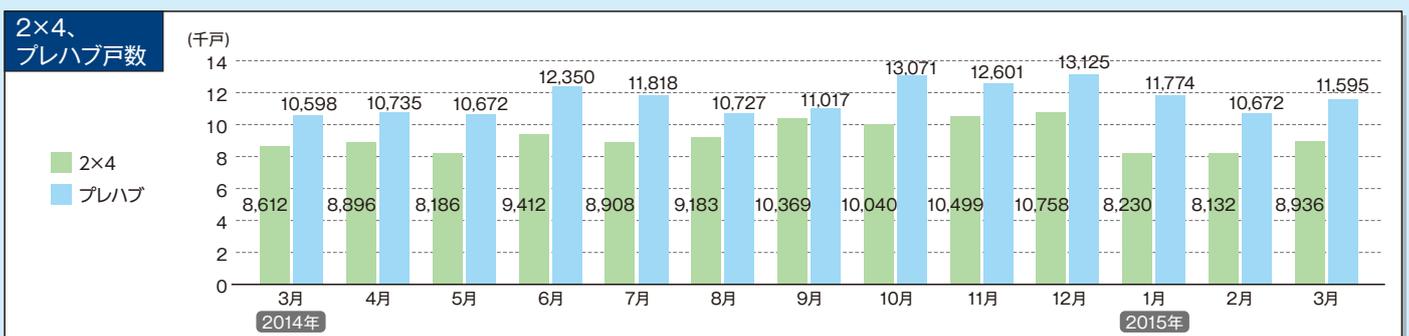
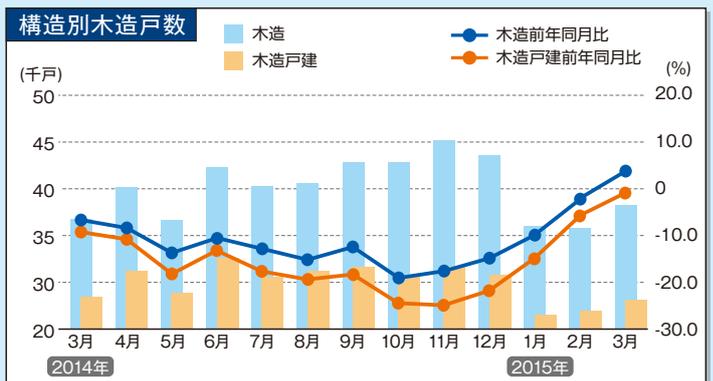
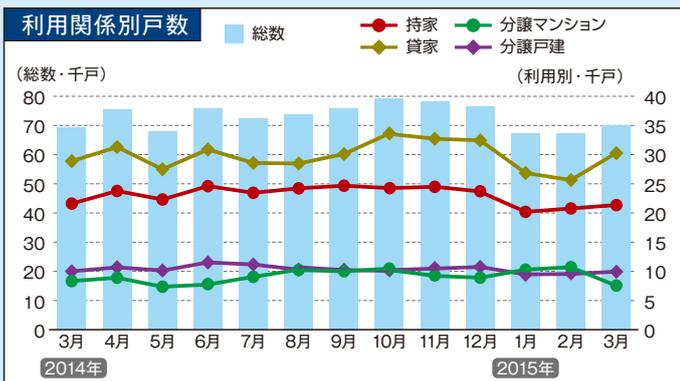
編集後記

4月に雨が多かったからでしょうか、スーパーに買い物に行くと野菜が値上がりしています。ふと思いついたのは、先日読んだ「植物工場」の記事。天候に左右されない屋内で、人工光や空調などで環境をコントロールし、厳密な衛生管理により病害虫の侵入を防ぐ。そのため農薬を使う必要がなく、安全な野菜を1年中安定して栽培ができるのだそうです。そんなことが当たり前になっても、自然の恵みに感謝する気持ちを忘れないで持ち続けたいものです。(E)

表紙:住友林業(株)東京西支店 三鷹第二展示場

2015年3月の新設住宅着工戸数 単位：戸 ▲は減

| | | 3月 | | | | | 2月 | 1月 | 12月 |
|--------------|--------------------|----------------|--------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | 対前年同月比 | | 対前々年同月比 | | | | | |
| 新設住宅計 | | 69,887 | 476 | 0.7% | ▲1,569 | ▲2.2% | 67,552 | 67,713 | 76,416 |
| 建築主別 | 公共 | 2,075 | 23 | 1.1% | 244 | 13.3% | 1,039 | 1,099 | 1,705 |
| | 民間 | 67,812 | 453 | 0.7% | ▲1,813 | ▲2.6% | 66,513 | 66,614 | 74,711 |
| 利用関係別 | 持家 | 21,352 | ▲298 | ▲1.4% | ▲3,527 | ▲14.2% | 20,813 | 20,282 | 23,725 |
| | 貸家 | 30,243 | 1,318 | 4.6% | 4,257 | 16.4% | 25,672 | 26,856 | 32,478 |
| | 給与住宅 | 732 | 364 | 98.9% | 325 | 79.9% | 622 | 533 | 607 |
| | 分譲住宅 | 17,560 | ▲908 | ▲4.9% | ▲2,624 | ▲13.0% | 20,445 | 20,042 | 19,606 |
| | うちマンション うち戸建 | 7,575 9,887 | ▲715 ▲157 | ▲8.6% ▲1.6% | ▲2,001 ▲608 | ▲20.9% ▲5.8% | 10,693 9,630 | 10,377 9,511 | 8,709 10,763 |
| 資金別 | 民間資金 | 61,858 | 711 | 1.2% | ▲60 | ▲0.1% | 59,947 | 61,095 | 68,117 |
| | 公的資金 | 8,029 | ▲235 | ▲2.8% | ▲1,509 | ▲15.8% | 7,605 | 6,618 | 8,299 |
| | 公営住宅 | 1,899 | ▲43 | ▲2.2% | 215 | 12.8% | 723 | 1,007 | 1,557 |
| | 住宅金融機構融資住宅 | 3,494 | ▲41 | ▲1.2% | ▲938 | ▲21.2% | 3,207 | 2,917 | 3,594 |
| | 都市再生機構建設住宅 | 16 | 16 | - | ▲64 | ▲80.0% | 245 | 54 | 0 |
| | その他住宅 | 2,620 | ▲167 | ▲6.0% | ▲722 | ▲21.6% | 3,430 | 2,640 | 3,148 |
| 構造別 | 木造 | 38,252 | 1,356 | 3.7% | ▲1,385 | ▲3.5% | 35,999 | 36,196 | 43,846 |
| | 非木造 | 31,635 | ▲880 | ▲2.7% | ▲184 | ▲0.6% | 31,553 | 31,517 | 32,570 |
| | 鉄骨鉄筋コンクリート造 | 884 | 220 | 33.1% | 494 | 126.7% | 310 | 259 | 480 |
| | 鉄筋コンクリート造 | 18,015 | ▲1,840 | ▲9.3% | ▲2,311 | ▲11.4% | 18,863 | 18,217 | 17,744 |
| | 鉄骨造 | 12,626 | 790 | 6.7% | 1,682 | 15.4% | 12,258 | 12,946 | 14,215 |
| | コンクリートブロック造 その他 | 44 66 | ▲49 ▲1 | ▲52.7% ▲1.5% | ▲30 ▲19 | ▲40.5% ▲22.4% | 75 47 | 45 50 | 64 67 |



2014年度
新設住宅着工戸数は
880,470戸。
前年度比
マイナス10.8%で
5年ぶりの減少。

木造軸組 外壁下地用耐力面材

タイガー-EXボード

新製品

防水性と防カビ性を高めたせっこう系耐力面材 [厚さ 12.5mm]

● 丈夫

高強度、耐力壁認定取得

● 火に強い

小屋裏、ユニットバス裏の面材が不要の防火構造

● 透湿抵抗は合板の約1/9

壁内部の結露防止に有効

● 地球にやさしい

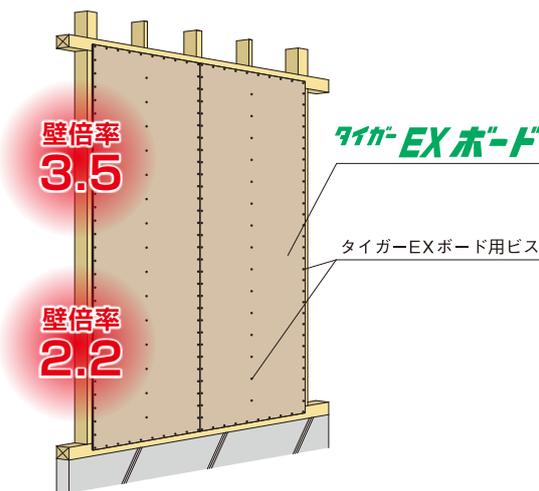
EXボードなら、リサイクルできます



▶ 耐力壁

● ビスパッチの違いで2種の壁倍率

※詳細は、耐力壁の認定書、標準施工指導書をご確認ください。

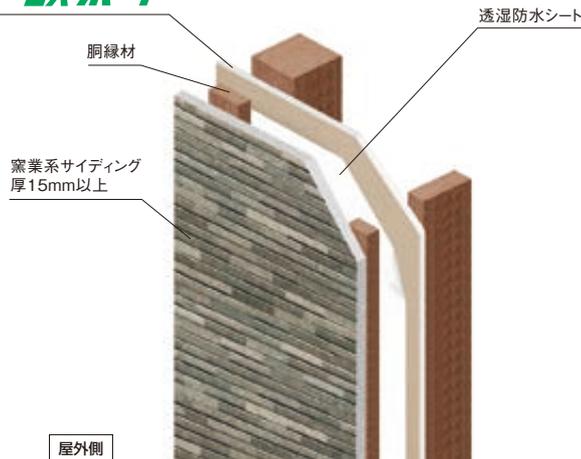


▶ 防火構造

● 屋内側面材は省略可 ● 断熱材は自由に選択可

※詳細は、防火構造の認定書、標準施工指導書をご確認ください。

タイガー-EXボード



安全で快適な住空間を創る
YOSHINO
吉野石膏株式会社

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル
ホームページ(URL) <http://www.yoshino-gypsum.com/>

●お問い合わせは 吉野石膏DDセンター TEL:03(3284)1181